

(要約+請求の範囲)

(19)【発行国】日本国特許庁

(12)【公報種別】公開特許公報(A)

(11)【公開番号】特開平11-282983

(43)【公開日】平成11年(1999)10月15日

(54)【発明の名称】指紋データによる本人識別方法

(51)【国際特許分類第6版】

G06K 17/00

G06T 7/00

G06K 19/10

19/07

G09C 1/00 660

H04L 9/32

【FI】

G06K 17/00 V

T

G09C 1/00 660 A

G06F 15/62 460

G06K 19/00 S

N

H04L 9/00 673 D

【審査請求】未請求

【請求項の数】3

【出願形態】FD

【全頁数】4

(21)【出願番号】特願平10-100357

(22)【出願日】平成10年(1998)3月27日

(71)【出願人】

【識別番号】000134257

【氏名又は名称】株式会社トーキン

【住所又は居所】宮城県仙台市太白区郡山6丁目7番1号

(72)【発明者】

【氏名】稲部 敏久

【住所又は居所】宮城県仙台市太白区郡山6丁目7番1号 株式会社トーキン内

(72)【発明者】

【氏名】佐藤 博美

【住所又は居所】宮城県仙台市太白区郡山6丁目7番1号 株式会社トーキン内

(57)【要約】

【課題】ICカードシステムの、指紋情報の記憶容量が少なく、確実な本人識別方法を提供する。

【解決手段】ICカード側では、所有者の指紋データ6を予め入力し、記憶させておく時に、その指紋データ6の記号化1を行い、更に冗長データ作成2を行い、これを合わせて冗長性付加3を行う。更に真の所有者のキー5を用いて暗号化4を図り、デジタル化することによって、記憶する情報を圧縮し、容量が数分の1以下にできる。このICカードの使用時、読み取り機に接近、挿入し、使用者の指紋13を入力し、得られた使用者の指紋データ7から冗長データ作成8により、使用者の指紋に基づく冗長データを得る。他方、ICカードからの信号を使用者が指定するキー12により復号化9し、冗長データ10を取り出す一方、前記の新たに入力された指紋に対応した冗長データを照合し、一致するか否かを識別する方法である。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ICカードシステムの、ICカードに予め記憶させる本人の指紋データと、使用時に使用者から提示された指紋とを用いて、ICカード所有者本人か否かを識別する方法において、予めICカードに記憶される指紋データを記号化し、予め用意したキーと冗長暗号化法等の暗号化法により暗号化し、圧縮した電子情報としてICカードに記憶させ、使用時に、このICカードからの電子情報と、使用者から提示される指紋から得られる電子情報を、予め用意したキーと冗長暗号化法等の暗号化法を用いて作成した照合用電子情報とを照合し、識別することを特徴とする指紋データによる本人識別方法。

【請求項2】 ICカードシステムにおいて、ICカードの使用者が行った行為または処理、及びそれらの内容について、ICカード所有者が認証したことを証明するデジタル署名方式として使用されることを特徴とする請求項1記載の指紋データによる本人識別方法。

【請求項3】 ICカードシステムにおいて、ICカードの使用者が行う受発信情報が漏洩や改竄されことなく正確に伝達される情報交換方式として使用されることを特徴とする請求項1記載の指紋データによる本人識別方法。